

校長室だより

杉並区立向陽中学校
8月号 平成28年8月30日発行
校長 菅野武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】

「建設的な和～みんなの向陽中学校～」

◇ 今年度実施の『区特定課題調査・意識・事態調査』の結果のお知らせ

5月11日（水）に実施した杉並区『特定の課題』に対する調査の結果及び『学習・生活についてのアンケート』の結果（一部抜粋）をお知らせします。今年度より「1年・理科」追加。

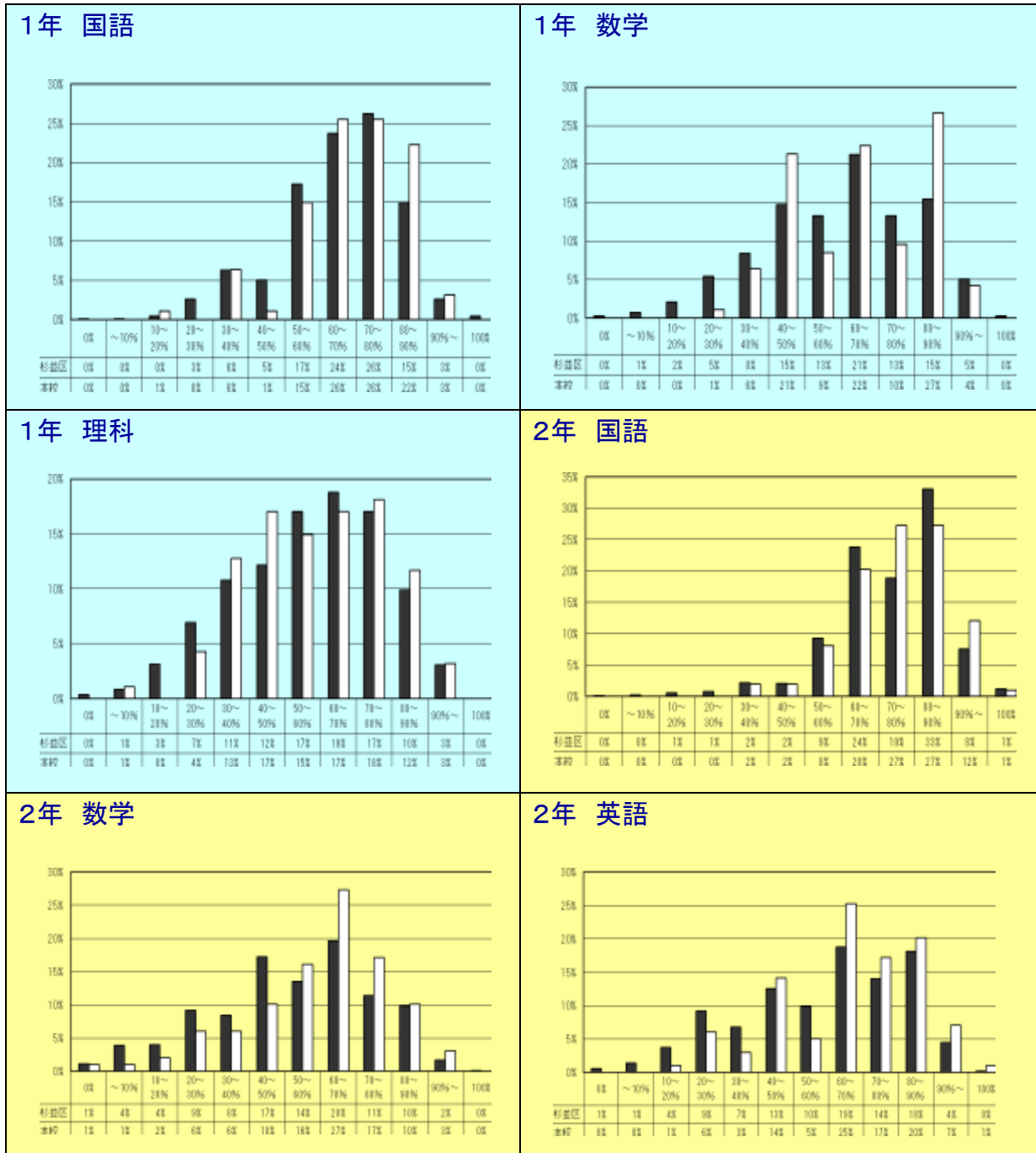
★平均正答率一覧（%） ※「昨年度比」は「28本校と区の差」－「27本校と区の差」の値

平成28年度 区と本校の 平均正答率の比較 「昨年度比」※参照		1年		2年 希望校のみ			3年 希望校のみ			
		区	本校	区	本校	昨年度比	区	本校	昨年度比	
国 語	教科全体	65.1	68.3	73.1	74.8	▲0.6	58.3	59.1	1.2	
	基礎	71.3	73.9	78.2	78.7	▲2.4	66.1	64.9	1.3	
	応用	55.5	59.4	66.5	69.8	1.8	48.3	51.7	1.3	
	学ぶ力	話す・聞く	93.7	95.2	92.4	98.0	5.7	83.7	87.3	3.2
		書く	69.3	75.9	67.0	72.4	4.0	48.0	48.6	▲1.5
	読む	56.8	60.2	73.8	74.3	▲1.5	56.0	58.0	3.2	
学んだ力	言語	69.8	69.5	59.7	57.6	▲8.5	58.5	51.7	▲4.8	
数 学	教科全体	59.5	64.7	51.5	58.5	5.9	51.2	52.5	3.5	
	基礎	66.5	71.8	61.4	68.6	6.8	63.5	67.4	6.0	
	応用	44.5	49.6	30.6	37.0	3.7	25.1	20.9	▲1.9	
	学ぶ力	見方や考え方	43.7	50.0	30.8	37.0	3.1	28.4	25.6	▲0.5
		技能	75.4	80.2	64.1	71.9	7.1	65.2	69.5	6.3
学んだ力	知識・理解	63.8	67.9	61.4	67.7	7.1	61.6	63.6	4.4	
英 語	教科全体			58.3	65.9		52.7	55.6	1.4	
	基礎			63.2	70.2		57.3	60.1	1.0	
	応用			47.8	56.8		42.8	46.1	2.2	
	学ぶ力	表現の能力			49.6	57.6		45.4	48.0	2.8
		理解の能力			60.2	67.1		52.9	55.8	0.4
学んだ力	知識・理解			70.3	77.0		66.9	67.5	▲3.5	

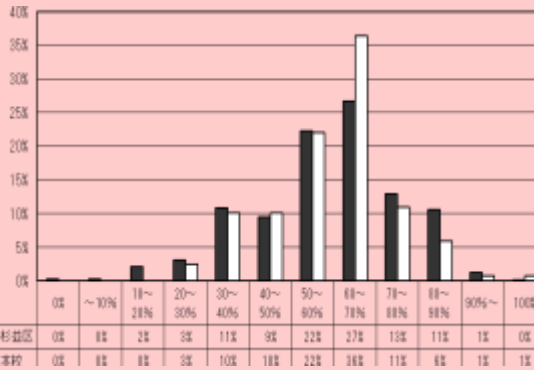
理科	教科全体	54.7	56.2							
	基礎	59.2	60.2							
	応用	44.1	46.8							
	学ぶ力	思考・表現	49.2	51.7						
		技能	59.0	60.5						
学んだ力	知識・理解	59.3	60.0							

★正答率分布状況(%)

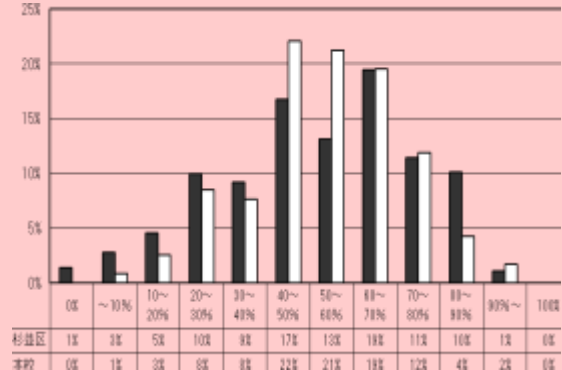
【黒:区 白:本校】



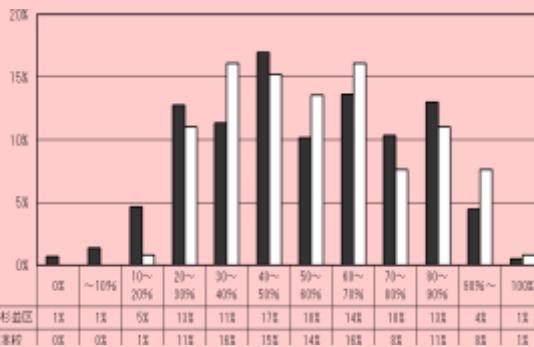
3年 国語



3年 数学



3年 英語



【考察】強みと今後解決すべき課題

- ◇第1学年(強):下位層が少ない。【国語】(課):30点台層の引き上げ【数学】(課):40点台層と60点台層の引き上げ【理科】(課):40点台層と50点台層の引き上げ
- ◇第2学年(強):下位層が少ない。【国語】(課):70点台層及び90点台層の引き上げ【数学】(課):中位層の引き上げ【英語】(課):中位層の引き上げ

★学習・生活のアンケートの概要 (%) 【一部抜粋】 ※5月中旬段階の回答・全学年分

設問番号	出題内容	肯定的な回答をした生徒の割合 (%)		
		杉並区	本校	差
問1-1	日本や世界で問題になっていることについて、自分の考えをもっている。	71.3	72.7	1.4
問1-4	今の自分に自信がある。	46.4	49.5	3.1
問1-5	自分と違う意見や考え、気持ちも大切にできている。	86.8	87.1	0.3
問1-7	学校で自分がまかされたことは、責任をもって取り組むようにしている。	94.1	92.6	▲1.5
問1-9	今の自分に満足している。	41.8	45.0	3.2
問1-10	決まりを破ったり、いじめをしたりしている友だちがいたら、自分から進んで注意している。	53.5	53.1	▲0.4
問1-12	ふだんから忘れ物をしないようにしている。	89.5	89.4	▲0.1
問1-13	今の自分を「好き」と言える。	48.8	51.8	3.0
問1-16	学校の先生は、自分のことを認めてくれていると思う。	73.4	77.2	3.8
問1-25	お年寄りや障害のある人がいたら、自分から進んで手助けをしている。	63.3	68.5	☆5.2
問2-1	学校の生活が充実している。	83.8	83.9	0.1
問2-2	失敗の経験を生かすことができる。	81.4	83.9	2.5
問2-5	勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	72.9	76.2	3.3
問2-8	将来実現したい夢や目標がある。	74.7	73.3	▲1.4

問 2-9	自分の身の回りのことは、自分でしている。	83.4	86.2	2.8
問 2-10	難しいことに挑戦することは、楽しいことだと思う。	74.3	79.4	☆5.1
問 2-13	自分は、最後までやりぬくなど根気強いほうだと思う。	59.7	62.7	3.0
問 2-17	学校で出された宿題はきちんとやるようにしている。	90.6	87.5	▲3.1
問 2-19	早寝早起きなど、規則正しい生活を心がけている。	66.4	70.1	3.7
問 2-23	分からないことは自分から質問したり、調べたりしようとしている。	75.4	77.8	2.2
問 3-1	授業で習った大事なことは、教科書に印を付けたり、ノートに書いたりしている。	90.1	89.7	▲0.4
問 3-4	授業の予習をしている。	50.6	52.4	1.8
問 3-5	授業の復習をしている。	61.9	70.7	☆8.8
問 3-8	集中して授業に取り組んでいる。	86.5	88.1	1.6
問 3-10	授業中、自分の考えや気持ちを発表することがよくある。	49.5	46.9	▲2.6
問 3-11	授業中、先生から誉められることがよくある。	34.4	33.1	▲1.3
問 3-12	学校の授業を受けることにより、分かることやできることが少しずつ増えている。	83.9	86.5	2.6
問 3-13	授業中、ペアやグループで活動したり話し合ったりする時間が多くある。	78.1	67.2	▲10.9
問 3-14	授業中、ほかの人が発表しているとき、自分の考えや気持ちと比べながら聞いている。	69.6	69.5	▲0.1

生徒の現状を踏まえ、第2学期以降の学習指導及び生活指導に当たります。学習では「家庭学習の定着」の取り組みの成果なのか、「授業の復習をしている」が区平均よりかなり高いです。一方、「授業中、ペアやグループで活動したり話し合ったりする時間が多くある」は区平均より10ポイント以上低く、生徒同士の「学び合い」活動の推進が大きな課題であるとともに、自分の考えや気持ちを発表する授業づくりも課題です。

学校生活では、これまで通り生徒の頑張りや成長をほめ励まし、人とのかかわりを通して「思いやりの心」をより育てます。また、学級活動や生徒会活動等でしっかりと自己の役割を果たすことができ、学校生活がより充実するよう指導してまいります。

◇ 夏季休業中の『自らを鍛える向陽中生の取り組み』“学習編”

7月中はさほどでもなかった暑さが8月に入ると一気に猛暑となり、ただでさえ熱いののにリオデジャネイロオリンピックでの日本人選手の活躍に日本中が熱狂した夏休みが終わりました。感動をいっぱい味わい、明日への希望と勇気をたくさんもらったこの38日間。例年とは違った夏休みになったことでしょう。そんな中、さまざまな誘惑と戦い、宿題と部活動に精を出し、自分を鍛えた1・2年生。来るべき受験に向けて講習会に参加したり家庭で自学自習に励んだりして勉強に精を出した3年生。みんなよく頑張ったね！お疲れさま！この2学期、1・2年生は一段とたくましく成長した姿を示しましょう。そして、様々な活動に精一杯、そしてたくましく取り組んでくれることを期待します。3年生は、まず向陽祭で最高学年としての姿を示しましょう。そして、一人一人の進路希望を実現できるよう、しっかりと心構えを持ち、学習活動に磨きをかけてください。多くの人々の応援に支えられ、たくましく成長することを期待します。

7月25日～29日の5日間実施した夏季パワーアップ教室(PU教室)への参加状況は次ページの通りです。参加した生徒はみな意欲的に学習に取り組んでいました。改めて向陽中生の学習

意欲を実感しました。参加生徒の感想を紹介します。■「とても面白くて楽しかったです。僕は国語が苦手なので、役に立った気がします。数学と英語は復習ができました。勉強はこれからも頑張っていきたいです(1男)」■「勉強がきらいだったけど、パワーアップ教室を通して勉強が大好きになりました。勉強はこんなにも楽しいんだ！と実感しました(1女)」■「PU教室は学校と同じ時間から1時間目が始まるので、生活リズムが崩れなかった。5日間で勉強する習慣が身に付いたので、来年も参加したい(2男)」■「英語…基礎を受けてだんだん分かることが増えてきて、とてもうれしかったです。国語…文章問題の解き方がよく分かりました。とても楽しかった。数学…連立方程式がとてもよく分かった。文章題から方程式を作るのが難しかった(2女)」■「受験とはどのようなものなのか、受験にどう向かうべきかをよく学ばされた。得意を伸ばし、苦手を確実にやることが大事だと学んだ。全体的に充実していた(3男)」■「数学…少人数だったので、先生がとても分かりやすく教えてくれたので、わからないところが減りました。英語…自分に合った基礎コースで学び、スマートレーニングで小さいミスがなくなった(3女)」。

□《夏季パワーアップ教室参加状況》

	教科	実施日数	参加人数	延べ人数
第一学年	国語(基礎)	5	31	151
	国語(発展)	5	15	47
	数学(基礎)	5	21	104
	数学(発展)	5	24	109
	英語(基礎)	5	25	121
	英語(発展)	5	21	97
第二学年	国語(基礎)	5	16	75
	国語(発展)	5	15	74
	数学(基礎)	5	11	51
	数学(発展)	5	19	93
	英語(基礎)	5	12	57
	英語(発展)	5	22	105
第三学年	国語(基礎)	5	20	88
	国語(発展)	5	3	15
	数学(基礎)	5	13	52
	数学(発展)	5	8	39
	英語(基礎)	5	15	66
	英語(発展)	5	7	31

※参加生徒は全校生徒の約33%です

□《夏季パワーアップ教室の様子》



1年生の様子 左：数学(基礎) 右：国語(発展)



2年生の様子 左：英語(基礎) 右：数学(発展)



3年生の様子 左：国語(基礎) 右：英語(発展)

◇ \ (^o^)/ 硬式テニス部男子 杉並区夏季大会 優勝! \ (^o^)/

硬式テニス部男子は都大会出場をかけた6月の第3ブロック大会で見事“準優勝”に輝き、7月の都大会に出場しました。都大会出場チームはさすが強敵ぞろいで、1回戦で敗退してしまし

た。その都大会の敗戦から3日後には、3年生にとっては最後の大会となる「杉並区中学校夏季テニス大会」に臨みました。

男子の初日の会場は向陽中学校。慣れ親しんだコートでKSCCのコーチの方々と保護者の声援をバックに戦いました。初戦の相手は杉森中学校Aチーム。ちなみに、試合はダブルス戦2試合とシングルス戦3試合の合計5試合を戦い、先に3勝したチームの勝ちとなります。まず、ダブルスの2ペア（土方・齋藤組と安藤・梅田組）が難なく勝利し、シングルスの3人（安藤君、渡邊君、地井君）につながりました。あと1勝となったシングルス1番手は2年生の地井君。相手チームの1番手が強敵で負けましたが、2番手の渡邊君が難なく勝利し、2回戦進出を決めました。その2回戦の相手は国学院大学久我山中学校Aチーム。この試合は接戦となり、第5試合までもつれる展開となりましたが、シングルス3番手の安藤君が見事勝利し、3-2でベスト4入りを決めました（この試合は所用のため観戦できず）。

次の日の会場は東田中学校。早朝から気温はうなぎ登り。しかし向陽中を応援する大人が朝から大勢駆け付けてくれました。KSCCのコーチの方々と保護者の皆さんです。そして硬式テニス部女子部員の応援もありました。準決勝の相手は日本大学第二中学校Aチーム。第1試合のダブルス土方・齋藤組は試合を優位に進め、6-1で勝利。第2試合のダブルス梅田・藤田組も危なげなく6-3で勝利し、あと1勝としました。第3試合のシングルス地井君は上級生相手に健闘するも1-6で破れました。しかし、第4試合のシングルス渡邊君が相手を寄せ付けず6-0で勝利し、決勝進出を決めました。準決勝ともなれば相手も強敵です。その強敵を倒す向陽中硬式テニス部男子は強い！と思いました。

決勝の相手は天沼中学校Aチーム。天沼中は試合前に円陣を組んで「絶対勝つぞ！」と氣勢を上げていました。それに対して向陽中は闘志を内に秘めた様子です。さてどちらが勝つか。私は午後の出張があり、残念ながら最後まで応援できず、第1試合と第2試合（同時進行）が終わったところで会場を後にしました。学校に到着すると、すでに朗報が届いていました。見事、優勝！！素晴らしい！みんな、おめでとう！（結果は第1試合6-0、第2試合6-2、第3試合0-6、第4試合6-1の3-1で勝利）

◇ 第4期小笠原自然体験交流「成果報告会」開催 7月16日（土）

平成28年3月26日～31日の5泊6日の日程で行われた第4期小笠原自然体験交流の「成果報告会」が7月16日（土）午後に泉南中学校で開催されました。29名の派遣中学生がグループ毎に全体発表とブース発表を行い、小笠原自然体験の成果を披露してくれました。

A班が「小笠原の地理・歴史」、B班が「陸の生物と環境保全」、C班が「海と環境保全」、D班が「1日目～3日目の体験」、最後にE班が「4日目～6日目の体験」について発表しました。

シュノーケルレッスン、ナイトウォーキング、ビーチクリーニング、ホエールウォッチング、ネイチャーガイド、海の実験、南洋踊り体験、小笠原海洋館見学、小笠原中学校との交流など、様々な体験の様子が発表されました。



ブース発表の八木さん(中央)

本校から参加した3年生の八木はなさんもE班の一員として発表しました。報告書の冊子には、八木さんの「環境リーダーになるための一歩から」と題した成果報告が掲載されています。小笠原の自然との触れ合いや小笠原村の取り組みから環境保全の重要性を学び、環境リーダーとしての学びについて書かれています。八木さん、お疲れさまでした。

なお、第5期小笠原自然体験交流事業は、平成29年3月25日(土)～30日(木)の日程で実施予定です。すでに募集案内が配付されています。希望者は9/12(月)までに提出してください。



全てが終わり記念撮影の様子

◇ 『すぎなみ小・中学生未来サミット』開催される 7月30日(土) 妙木杉並

昨年までは“いじめをなくす”ことをねらいとして開催されてきた『中学生生徒会サミット』。4年目を迎えた今年は、『すぎなみ小・中学生未来サミット』にリニューアル。そのねらいは、児童・生徒自らが、学校生活をよりよくする活動を展開するための方策等を協議すること、広く区民等に対して、いじめ問題等に対する小・中学校の取組を共有することの2つです。

□「ポスターセッション」□

開会式前及び、第Ⅰ部と第Ⅱ部の間に、各中学校区の取組をポスターセッションとして発表しました。「高三小・永福小・向陽中」のポスターセッションでは、小学生4名と中学生3名の計7名が担当し、①向陽中独自の取組である『向陽中いじめ0%五ヶ条』の説明とその取組の一つの『ひまわりノート』について、②高三小と永福小と連携した「明るい学校をつくろう！」の取組について説明しました。ポスターセッションの会場がとても狭い上に、設置場所が会場の奥だったこともあり、多くの人に説明することができず残念でした。(本来は展示室でポスターセッションを行う予定だったが、知事選挙のために使えなくなった)7名の児童・生徒の皆さん、お疲れさまでした。



ポスターセッションの様子

□第Ⅰ部「各中学校区による取組の発表(2分間)」□

23中学校区の取組の発表がありました。その内容はそれぞれに特徴や工夫があり、興味深く聞かせてもらいました。また、中学生が一人で発表する校区があったり、小・中学生が数名で横断幕を持って発表する校区があったりと、発表にも違いがあり楽しかったです。

17番目に「高三・永福・向陽」の発表がありました。発表者は向陽中3年今村紗佳子さん、高三小6年峯田梨花さん、永福小6年林茉奈さんの3名です。まず、今村さんが生徒会を中心に



「高三・永福・向陽」の取組発表

に全校生徒で作った「向陽中いじめ0%五ヶ条」の作成経緯やその取組について説明。そして今年6月に高三小と永福小を訪問し、「いじめ0%五ヶ条」を説明し、「いじめをなくすためにできること」や「明るい学校づくり」について話し合ったことを報告しました。つぎに、峯田さんが「私たちが考える明るい学校は、あいさつをたくさんする学校です。あいさつがたくさんできる

と、コミュニケーションがとれ、誰とも仲よくなって会話も弾み、みんなが笑顔になれる」と伝えました。さらに、林さんが「明るい学校をつくるためには、あいさつ運動を代表委員だけでなく、低学年、中学年、高学年でやる日を分けてやってもいい。より多くの人があいさつ運動で呼びかける立場を経験し、あいさつであられる学校にしたい」と伝えました。最後に、今村さんが今後3校が連携して明るい学校づくりに取り組むことを伝えました。（詳しくは、7月発行「第14号向陽中学校区小中一貫教育だより」をご参照ください）

□第Ⅱ部 パネルディスカッション□

今年度のパネルディスカッションの担当は中学校第4分区の6校の連携校です。6校の連携校が登壇し、議長校が進行しました。テーマは「明るい学校づくりをするためには」です。意見交換は会場にいる中学生や大人も参加できる形式です。意見交換会の内容は以下のとおりです。（ちなみに向陽中学校は第3分区です）



パネルディスカッションの様子

☆「学校自慢をする」☆

○あいさつができる、上下関係がない（A中）○学校の伝統「自由と責任」を守っている（B中）○仲よし、地域の協力がある、縁にあふれている学校（C小）○行事が盛ん、学年関係なく仲がいい、ボランティアが盛ん（D中）○仲よし、ボランティア活動が盛ん（E中）○学年間のつながりが強い、あいさつができる（F中）○団結力が強い、チームワークがいい（G中）など。

☆「あいさつができる学校づくり」☆

○上級生が下級生にあいさつの見本を示し、あいさつを伝統にしている ○日頃からすれ違う際にもあいさつをしている。課題は目を見てあいさつを！ ○あいさつの質を高めるために、冊子づくりを ○部活動や有志であいさつ運動を ○定期的にあいさつ運動を行っているなど。

☆「一人一人が活躍できる学校」☆

○自分の得意なことを進んでやる ○適材適所がある ○居場所がある、必要とされている ○活躍って？ 活躍できなくても生きることができる 悪いことではない ○目標に向かって努力する姿が活躍では… ○自分で認めてあげることが大切 ○生徒同士の間関係もあるので、どうしても担任の先生（大人）に出てもらう必要があるなど。

これに対して、会場の若手の先生方からつぎのような意見が発表されました。「一人一人の生徒には学級での役割がある。その役割を果たすことで学級のためになっていることを知らせ、励ます。（清掃、給食、係活動、委員会活動など）」。「一人一人の「活躍」のとらえ方は違ってもいい。人前に出て活躍できる生徒がいてもいいし、そうではなく人前に出なくても、縁の下の力持ち的な働きができる生徒もいていい」。

サミットに参加した私は「生徒一人一人が活躍できる学校であってほしい。この活躍とは人それぞれでいい。活躍のとらえ方は多様でいい。『居場所がある、人のためになっている、前向きに取り組める、行事で協力できる、自分の役割を果たせる』など。また、今年度のキーワード『みんなの向陽中学校』の考え方に通じるものがあり、うれしく思った。このキーワードには2つの願いを込めた。①向陽中学校を創るのは誰ですかとの問いに、『私です』と答える学校づくり。一人一人が向陽中学校を創る意識をもつ。②教職員一人一人が“向陽中生全員を大切にする”」。